



令和3年度

私立学校初任者研修

中国・四国地区研修会

私立学校初任者研修は、私立学校に新たに採用された先生～教員歴5年程度の先生を対象とした研修会です。中国・四国地区研修会は鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知の各県から毎年多くの先生方が参加し、研鑽を積んでいます。

会期・会場



令和3年8月2日（月）～4日（水）

にぎたつ会館 他（愛媛県松山市）

参加費



37,000 円 ※松山市外からの参加者。参加費・宿泊費（二泊）・合宿中の食事代含む。

21,000 円 ※松山市内の学校からの参加者は通い参加となります。

申し込み方法



参加をご希望の場合は、別紙「実施案内」の参加申込書を日本私学教育研究所宛に郵送またはFAXでお送りください。

一般財団法人

日本私学教育研究所

-The Education Institute for Private schools in Japan-

私立学校初任者研修地区研修会については、研究所HPや動画等での紹介も行っております。詳しくは右記のQRコードからご確認ください。



1

私学教育に関する講義

私立学校に勤める教員「私学人」として必要な心構えや大学入試改革などの内容を含んだ教育の最新事情に関する講義を聞き、私立学校に勤める教員としての基本を身につけます。



2

多様な講師による講義

近年の研修会では、増加傾向にある発達障害を持つ生徒に関する講義や、学校ではなく民間企業に勤める方を講師としてお招きし、幅広い視点から物事を捉えることや主体的に行動することの重要性を学びました。



3

他校の先生方との交流

グループ討議や経験交流会を通して、普段はあまり話すことのない他校の先生と交流を持つことで、教員間のネットワークを構築します。ここで得た仲間は今後の財産となります。

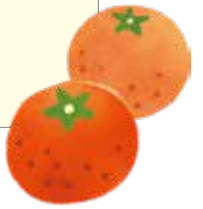




小畑 祐貴 先生

愛光中学・高等学校

こんにちは。愛光学園数学科の小畑祐貴です。私が初任者研修に参加して最も印象的だったのは、他校の先生方とのグループ討議です。4月から4カ月間を教員として働いてみて、生徒指導・教科指導をはじめとした様々な悩み・疑問を持っていました。グループ討議を通じて、グループで悩み・疑問を共有することで新しい解決策や考え方を教えてもらうことができました。同じような悩み・疑問を持っている先生方もいらっしゃったので、共感してもらうことができ、とても話しやすかったです。さらに、実際に言葉にして話すことで考えが整理され、自分の悩み・疑問の本質的な部分にも気づくことができました。



福永 正輝 先生

鳥取敬愛高等学校

私学の教員として期待されることや責任、私立学校をめぐる教育の最新事情などを学べただけではなく、分散会や交流会で、様々な先生方と意見を交わすことができました。学級経営や生徒指導などについて、現場での様々な取り組みや悩みを他県の同世代の先生方と話し合える機会は貴重だと思います。またICTの導入による授業展開についてのメリット・デメリットを、それぞれの学校の状況を踏まえて情報交換できたことも有意義でした。学生時代に学んだこと、学校現場に出て戸惑っていることなど、一人ひとり様々あると思いますが、私学の同志と県をまたいで繋がることのできる研修にぜひ参加し、更なる飛躍をしていきましょう！



令和3年度 初任者研修 中国・四国地区研修会 講師紹介



講義「教員としての働き方と学び方」担当
愛媛大学大学院 教授
露口 健司 先生

初任者教員の皆さん、1学期の勤務はいかがでしたか。新たな職業、新たな職場、新たな職務と、新規体験づくりの4ヶ月でしたね。

今日、働き方改革が進められていますが、本改革では時間外勤務時間の縮減飲みが問われているわけではありません。教育の専門職として、誇りとやりがいを持って働いているか。公私共にわたって幸せを実感できているか。職務が大変で抑鬱傾向に陥っていないか。業務を効率的にこなすことで、成長・学びのための時間が取れているか等が成果指標として問われています。この講座を通して、皆さんの1学期の働きぶりを上記観点から振り返り、2学期に向けての態度・思考を整えていきましょう。

講座ではスマートフォン等を使用し、協議の機会も積極的に取り入れます。8月は教員の幸福度が最も高い月ですが、さらに幸福度を高めるような研修講座にしていきたいでしょう。

開催県（愛媛県）初任者研修地区運営委員からのご挨拶



一般財団法人日本私学教育研究所
私立学校初任者研修地区運営委員（愛媛県）
松山聖陵高等学校
校長 渡部 正治

ようこそ愛媛、松山へ。

松山には3,000年の歴史を誇り、日本最古の温泉と言われる道後温泉や、日本で最後の完全な城郭建築（桃山文化様式）の構造形式で天守防衛の究極的な姿であると言われる「現存12天守」の松山城などがあります。天守から松山平野が360度見渡せる眺めは絶景で、近代城郭の完成度を見ることができます。ぜひ時間があれば足を運んでみてください。

さて、私学と公立の違いを考える中で、何が違うかと問われたら「教員研修」ではないかと思えます。公立では教科の持ち時間を減らしてでも新任の教員には1年間徹底して様々な研修を実施し資質の向上を図っています。

私立学校初任者研修中国・四国地区研修会では、教職経験が少ない先生方が、助言者の先輩方や他校の先生方と交流する中で、成功体験や失敗談を語り合い、日頃抱えている問題などをぶつけ合って、これからの教員生活に糧として資質の向上を図る一助になる研修会になることを期待しています。この研修会が先生方にとって実りあるためにも積極的な参加を期待します。

一般財団法人 日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6階

TEL：03-3222-1621 FAX：03-3222-1683 研究所 HP：<https://www.shigaku.or.jp>